

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		トレーニングルーム運営				所管	教育委員会 青少年・スポーツ課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名			
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度	
		[小 柱]					[事業開始] 平成 1 3 年度	
		[施 策]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区生涯学習センター条例			
	事業対象	15歳以上の区内在住、在勤、在学者						
	事業目的	健やかな毎日を送るために、継続的な体力づくりを行なえる機会を提供する。						
	事業内容	・フリーストレイニング ・週六回のレッスンプログラム(練功&ストレッチ、ソフトエアロビクス、エアロビクス、バランスボール、ストレッチ、簡単！筋力トレーニング)						
委託の有無	一部委託		委託内容	トレーニングルーム管理運営				
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	開館日数 (日)		330	330	330	328	
		教室数 (教室)		6	6	6	6	
	成果指標	延べ利用者数 (人)		30,000	24,497	26,827	29,149	
		教室参加人数 (人)		5,500	4,401	4,768	5,224	
	決算額 (単位：千円)			9,927	9,130	9,362		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			3,600	2,499	2,130	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			9,927	9,130	9,363	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			13,527	11,629	11,493	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			4,899	5,365	5,830	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源 (区負担額)			8,628	6,264	5,663			
前年度から改善した事項		工夫したPR等で参加者数が昨年度より増加した。また大きな事故なく運営ができており、今後も引き続き安心・安全な運営を行なっていく。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	利用者数も年々増加しており、区民の方々が継続的に運動できるようにするためにも必要である。					
	効率性	3	トレーニング機器のリース、トレーナーの派遣を含めた運営を委託することで、事業の効率化を図っている。					
	手段の適切性	3	円滑で安全な運営を行うため専門業者に委託しており、概ね問題はない。					
	目的達成度	4	利用者、教室参加者が目標値に達したが、継続して利用してもらえるよう今後も運営等を工夫しながら進めていく。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
年々利用者も増加し、気軽に運動・トレーニングを行なえる身近な施設として地域に根付いてきている。トレーナーが常駐している点が利用者から好評で、トレーニングについていつでも質問・相談できる環境が整っている。また、利用者同士のコミュニケーションの場としても役割を果たしているため、今後も現状を維持したい。								